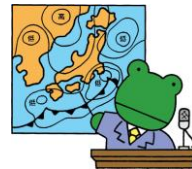


KSN 通信 VOL.88

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。
 6 月ごろまでの長期予報では、エルニーニョの影響もあり、今年は冷夏との予測がなされていたものの、実際には冷夏どころか連日猛暑が続いていましたね。エルニーニョが発生すると、本来なら日本の気候は冷夏・暖冬となるケースが多いようですが、今夏は台風の影響とインド洋ダイポールモード現象（エルニーニョのインド洋版）が発生したせいで大気の状態が不安定になり、結果的に猛暑や天候不順に繋がってしまっているのだそうです。残暑が長引くおそれがあるとの予測を見た数日後には、また予測が変わっていたりと、不安定な天候は今後も続きそうですね。



■ KSN ニュース

■ 消防署の定期立入査察を受けました

先般、堺市西消防署予防課の立会いのもと、年に一度の消防署による定期立入査察を受けました。査察中、全設備をより安全かつ円滑に運営管理していけるよう、留意する点についてご指導いただき、今回もつつがなく終了することができました。

これからも、従業員一同、「安全第一」を念頭に置きながら、職務に励んで参りたい所存でございます。



灯油タンク前に設置している消火器を点検中。



排ガス燃焼炉の前にて、炭化設備について説明中。

■ 環境ニュース

■ 9 月は「オゾン層保護対策推進月間」です

環境省より、平成 27 年のオゾン層保護対策推進月間での取り組み内容について発表されました。

1987 年 9 月 16 日に「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」が採択されたことにちなんで、毎年 9 月 1 日～30 日の 1 か月間は、「オゾン層保護対策推進月間」とされています。この期間は、国、地方公共団体等において、オゾン層保護・フロン等対策に関する啓発活動が集中的に行われています。

各地方公共団体においては、オゾン層保護の意義について周知を図るため、イベント会場や庁舎でのパネル・ポスターの掲示、啓発資材・パンフレット等の配布、ホームページやメールマガジン、新聞、ラジオ、広報誌などを利用した広報、フロン回収事業者への講習会等が行われ、オゾン層保護の重要性、使用時漏えい防止、フロン類の適切な回収・破壊を呼びかける取組が実施されます。

また、環境省では、ポスター「オゾン層保護対策推進月間（2015 年 9 月 1 日～30 日）」及びパンフレット「オゾン層を守ろう 2015」が作成され、同省ホームページ上にオゾン層保護対策推進月間に関するページが設けられ、上記 2 点を含めた各種普及啓発用資料が紹介されています。さらに、使用中の冷蔵・冷凍・空調機器からの冷媒フロン類の漏れがかなり多いことから、使用時の漏えいを防止するため、フロン排出抑制法に基づく点検・修理等を行い、冷媒漏れがある場合は、フロン類を用いない製品（ノンフロン製品）への乗換えを検討すること等が呼び掛けられています。

■ 8 月の受入量割合

※総受入量に対する一般廃棄物・産業廃棄物の割合を示す。

一般廃棄物	67.3%	産業廃棄物	32.7%	(H27.8.1～30)
-------	-------	-------	-------	--------------

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町 4 丁 2 番 5

TEL：072-320-9001（代表）

FAX：072-320-9004